

快適環境だより

★★第129号★★
平成25年7月8日

発行 高山市快適環境づくり市民会議事務局
TEL0577-35-3138 Fax0577-35-3169

☆第26回飛騨高山クリーン作戦は中止となりました☆

7月7日(日)に予定していましたが、前日からの断続的な雨により中止となりました。

次回の秋の開催にも、ご協力くださいますようお願いいたします。



☆第15回グリーンマーケットを開催しました☆

6月23日(日)、原山市民公園においてグリーンマーケットを開催しました。

終盤に雨に見舞われましたが、多数の市民の方々にお越しいただきました。

誠にありがとうございました。



フリーマーケットの様子



ガーデニング講習会の様子

☆高山市快適環境づくり市民会議推進大会を開催しました☆

3月21日(木)、高山市役所において平成24年度の高山市快適環境づくり市民会議推進大会を開催しました。

① 平成24年度の活動報告と、平成25年度の活動方針を決定しました。

高山市快適環境づくり市民会議活動方針

1. みつめよう、日常活動と地球の未来(温暖化防止のために)
行動目標 一人ひとりの地球温暖化対策
2. 自らすすめる、ごみ減量とリサイクル
行動目標 「もったいない」の心を育てよう
3. みんなで進める、心がかよう快適なまちづくり
行動目標 人に迷惑をかけない生活習慣の継承・形成
4. 郷土の生物多様性を保全し、自然と共存するまちづくり
行動目標 自然や環境保護に対する意識啓発をすすめます



② 環境保全に関する活動報告として、市民活動団体 とらまいか 代表 都竹昌次さんに「オオハングソウの駆除活動報告」をしていただきました。

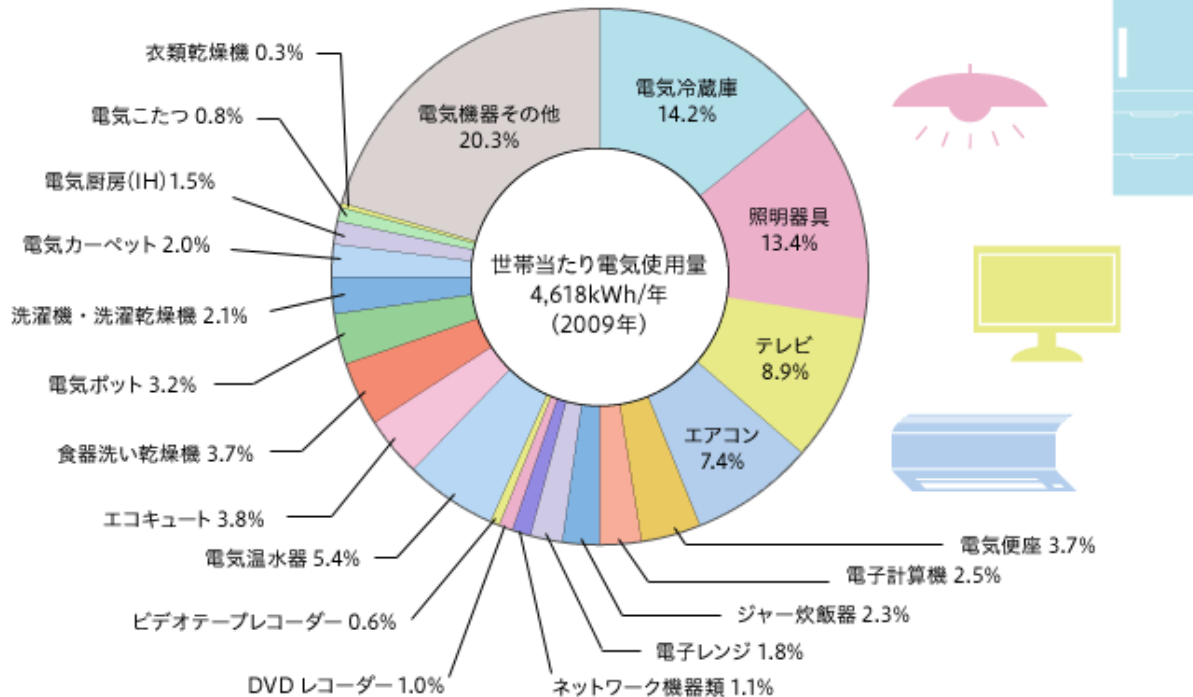
③ 「特定外来生物の防除～小鳥湿原における取組事例について～」と題して、株式会社環境アセスメントセンターの池上宙志さんにご講演いただきました。

ご家庭での節電にご協力ください。

家庭でオフィスで、みんなが少しずつ節電の努力をすることが、安定した電力供給につながります。

さらには、一人一人の節電がCO₂削減に、ひいては地球温暖化防止に貢献します。節電アクションにぜひご参加ください。

家電製品別の消費電力量の比較



家庭の中で特に電気消費量が多いのは、電気冷蔵庫、照明器具、テレビ、エアコン、電気温水器の5つです。これらをはじめとする家電製品を上手に使うことで、効果的に節電することができます。

また、日中のピーク時を避けて電化製品を利用することも、電力供給の安定を保つために重要な方法です。

出典:資源エネルギー庁 平成22年度省エネルギー政策分析調査事業「家庭におけるエネルギー消費実態について」
※資源エネルギー庁平成21年度民生部門エネルギー消費実態調査及び機器の使用に関する調査より
日本エネルギー経済研究所が試算(注:エアコンは2009年の冷夏・暖冬影響を含む)。

家庭でできる節電方法

- ①こまめにスイッチオフ！ スイッチオフで電気使用は必要最小限に！
- ②待機電力を削減！ 使用していない場合にも電力が消費される待機電力を削減！
- ③エアコンで節電！ 設定温度・風向きを調節して節電！
- ④冷蔵庫で節電！ 扉の開閉時間を短く、詰め込む量も考えて節電！
- ⑤照明で節電！ 明るさや点灯時間を調節して節電！
- ⑥テレビで節電！ 主電源OFF・明るさを調節して節電！
- ⑦他にもこんなところで節電！ 生活スタイルを見直して節電！

(「みんなで節電アクション！ - チャレンジ 25」より抜粋)

くわしくは、www.challenge25.go.jp/setsuden/をご覧ください。

7月は「清流月間」です。これは、平成22年の“第30回全国豊かな海づくり ぎふ長良川大会”を契機として高まった県民の皆さんの環境保全意識を継続、発展させ、「清流の国ぎふ」づくりを掲げて、清流を「守る」、「活かす」、「伝える」ことによる環境保全の取り組みを推進するものです。

皆さんも地域の清流に目を向け、「清流の国ぎふ」づくりの活動に参加しましょう。

